

# Green Map Uji

## eco community map

vol.01 2008 SPRING

エリア：宇治川周辺  
 テーマ：宇治十帖を手がかりに  
 宇治川周辺の環境を見る

- アイコンの意味**
- 野生動物観察地点
  - 水辺の生物
  - 渡り鳥飛来地点
  - 公共の森と自然のエリア
  - 特別な木
  - 花の名所
  - 紅葉の名所
  - 竹林
  - 魚釣
  - 名水・湧水・滝
  - 朝霧・川霧
  - 眺望ポイント
  - ソーラーパネル使用
  - フェアトレード店
  - コミュニティセンター
  - 博物館・資料館
  - 史跡・文化財
  - 重要建築物
  - 下水処理場
  - エネルギー供給施設
  - 駐輪場
  - エコ散策コース
  - ボート乗り場
  - 公共交通主要駅
  - ローカル公共交通駅
  - グリーンマップ取扱所
  - 環境荒廃地点
  - 環境論争地点
  - ゴミ不法投棄
- ローカルアイコンの意味**
- 茶畑
  - 鵜飼
  - 宇治十帖史蹟



### ●サイトの説明

- A1 01 京滋バイパスの不法投棄 人通りの少なから大量のごみが棄てられている。
- 02 道路上の落書き カラースプレーによる落書きが道路に広がっている。
- 03 戦川沿いの遊歩道 整備されて道幅も広く散歩に最適。
- A2 04 免道稚郎子墓 応神天皇の皇子の墓とされる。
- 05 麻薬船 建設会社が事業後に放置した採掘船がそのまま残っている。
- 06 太閤堀発掘現場 秀吉が伏見城築城に伴い造られたとされる堤防。2007年に発掘され、開発が保全かが問われている。
- A3 07 マンション建設問題 大型マンションの建設計画から宇治の景観をどう守るのか考えるきっかけになった。
- 08 茶屋長屋門と上林記念館 宇治のお茶の歴史がわかる。
- 09 京都文教大学・京都文教短期大学サテライトキャンパス宇治橋通り 地域と大学を繋ぐ拠点。Green Map Uji の活動拠点。
- 0774-22-2513
- 0774-23-3171
- A4 10 宝来船松 中村藤吉本店内の中庭のクロマツで、宇治名木百選の一つ。
- 0774-22-7800(中村藤吉本店)
- B2 11 二子山古墳 1968年古墳主体部を発掘。関連する遺物も多数出土した。見学は不可。
- B3 12 宇治市源氏物語ミュージアム 源氏物語を紹介する博物館。
- 0774-39-9300
- 13 大吉山遊歩道 展望台へ続く遊歩道。
- 14 道園の店構え 創業は1160年にさかのぼるという宇治茶の老舗で歴史ある店構え。重要建築物。
- 0774-21-2243
- 15 宇治橋 646年に奈良元興寺の僧によって架けられた日本最古の橋と言われている。
- 16 宇治上神社 現存する日本最古の神社建築。1994年世界遺産登録。
- 0774-21-4634
- 17 さわらびの道 市民、観光客に親しまれる樹木に囲まれた道。
- 0774-21-2176
- 19 恵心院 四季折々の花が楽しめる「花の寺」として有名。
- 20 橋島・塔島の枝垂桜 円山公園の枝垂桜から枝分けされた桜。花見のシーズンは花見客で賑わう。
- B4 21 平等院 1994年世界遺産登録。修学旅行生や観光客で年中賑わう。
- 0774-21-2861
- 22 宇治市観光センター 中では宇治茶の無料接待あり。施設右には市営茶室「対鳳庵」も。
- 0774-23-3334
- 23 宇治川観光通船 鵜飼と宇治川遊覧船の案内。
- 0774-21-2328
- 24 宇治の川霧 寒い季節に朝霧橋、宇治橋から川に霧がかかる様を見ることが出来る。
- C1 25 三室戸寺 西園観音霊場十番札所。
- 0774-21-2067
- C3 26 大吉山展望台 宇治が一望できる。野鳥が集まることも。
- 27 興聖寺 秋には参道(琴坂)両脇のみじりが映える。静かな境内には時おり野鳥の音が聞こえる。
- 0774-21-2040

### ●グリーンマップとは

グリーンマップとは、いま自分たちが住んでいる地域の環境にいいもの、悪いものを調査し、世界共通のアイコン(絵文字)を使って地図に表す環境マップのことです。このマップ作りを通して、自分たちの身の回りの環境に問題意識を持ち、何が出来るかを考えていくことが目標です。このマップ作りの運動は、現在世界中で40カ国、250地域が参加し、持続可能な社会を目指す人々の、国際的なネットワークとして素晴らしい広がりを見せています。

### ●Green Map Uji について

「合言葉はエコ・コミュニティマップ！」  
 地元である宇治のグリーンマップをつくることで、宇治を再発見したい！そう思って発足したのが、「Green Map Uji」です。今現在、社会人3名、京都文教大学学生6名の計9名で、京都文教大学宇治サテライトキャンパスを拠点に活動しています。宇治のグリーンマップをつくるにあたって、私たちが目標としたのは「地元の人々の目につくマップ、そしてそこからコミュニケーションが生まれるマップ」でした。題して、「エコ・コミュニティマップ」です。Green Map Uji は、その目標のためにもマップ作りの現場が地元を見つめる場、交流の場になっていくよう努力していきたいと思っています。どうぞこれからも、よろしくお願いたします。

### ●グリーンマップアイコン について

グリーンマップの特徴は子ども達にも人気のかわいいアイコンです。言葉を越えて情報交換できる視覚言語—グローバルアイコンは、自然環境・文化・社会に関係する様々なアイコンが含まれています。このGreen Map Uji では29個のアイコンを使用しています。また、地域独自のローカルアイコンとして「茶畑」「鵜飼」「宇治十帖史蹟」の3つを作りました。(この地図は、グリーンマップアイコンVer.2を使用しています)

**Green Map Uji**  
**Vol.01 2008 SPRING**  
 発行日：2008年3月31日  
 企画：Green Map Uji (京都文教大学平成19年度特色Gプロジェクト、京都文教大学フィールドサーチオフィス)  
 発行：京都文教大学  
 編集制作：マークィーズ・コンスタンティノス、江崎洋子、竹内彰伸、田中裕子、藤田朋美、藤原卓、牧慈、山下のぞみ、山中耕  
 印刷：タケダ印刷株式会社  
 お問い合わせ：京都文教大学フィールドサーチオフィス  
 Tel. 0774-25-2630

許可無くこの地図を転載・複製することは禁じられています。  
 グリーンマップはGreen Map System<sup>TM</sup> の商標であり、アイコン及びロゴには著作権があります。禁無断転載・複製。  
 版権：Green Map System, Inc. 2003  
 グリーンマップシステム  
 URL: <http://www.greenmap.org>  
 グリーンマップジャパン  
 URL: <http://www.greenmap.jp>

この地図の制作にあたっては、宇治市の承認を得て、宇治市発行の1：10000都市計画図を使用しました。(使用承認19宇都市第528号)

この地図の制作にあたってご協力いただいたみなさまに、心よりお礼申し上げます。  
 協力：FMうじ、おみやげプラザ宿木、宇治川観光通船、宇治市観光センター、宇治市総合福祉センター、花やしき浮舟園、ゆめりあうじ、上田曜子、上野泰弘、高橋寿夫、トーマス・ベリー、西村芳久、深尾知行、藤村肇、松坂善勝、松田理絵、山本哲治 (順不同)  
 参考文献：やさしい宇治の歴史-岡本望善-2006 文理閣



グリーンマップをとおして、地域の環境を考える。  
News Letter を地域の eco community の場に。



01

2008年3月31日発行

## 宇治十帖の史蹟を手がかりに、環境を見る

2008年は紫式部による源氏物語が生まれて1000年目。

ちょうど宇治にとって区切りの年なので

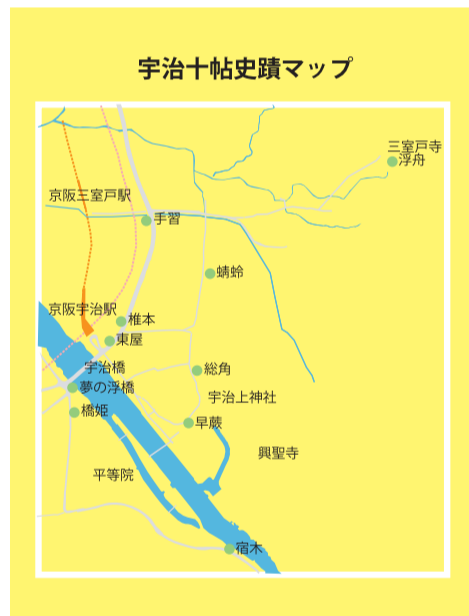
私たちは宇治十帖の史蹟をキーポイントに、まちあるきをしてみました。

宇治には宇治橋を中心として

宇治十帖にちなんだ名前のつけられた石碑があります。

宇治の自然や史蹟めぐりを楽しむみなさんにも、

まちあるきのよい目印になるでしょう。



### ■榎本・東屋（しいがもと・あすまや）

宇治橋東詰めに隣接する京阪宇治駅。多くの利用客を抱える駅のホームから宇治川方面を覗くと、茶畑を見ることが出来ます。



宇治川沿いで見られる茶畑

駅にほど近い府道沿いの、季節によってはきれいな花も鑑賞できる彼方（おちかた）神社に、宇治十帖のひとつ「榎本」があります。辺りには交通量も多く、地元の人や観光客で賑やかです。すぐ隣に宇治十帖のひとつ「東屋」があり、東屋の横から三室戸駅方面に向かう京阪沿いの道があります。三室戸駅の近くは道幅が狭く、歩行者のすぐ近くを車が通り過ぎます。駅から放水路沿いに宇治川まで行くと、菟道稚郎子（うじのわきいらつこ）の墓とされ

る社を望むことができます（菟道稚郎子は兄である仁徳天皇に皇位を譲るために命を絶つたと伝えられる応神天皇の皇子です）。森の木々の上では時折長い足の自立つアオサギが鳴き、対岸の川岸にも野鳥や飛来した渡り鳥を見ることが出来ます。しかし優雅な水鳥の姿とは対照的に、川の中には壊れた船が放置され、川岸の藪の中には電化製品や古タイヤなどの粗大ゴミが捨てられていました。

京阪沿いの道へもどり、人々の行き交う駅付近から戦川に至ると、そこから宇治川への合流までは歩道の幅が広く、セキレイなど野鳥が多く見られ、天気の良い日は気持ちよく散歩が出来ます。さらに京滋バイパス付近は茶畑が広がり、三室戸寺方面の山々まで見渡すことができますが、人目につかないのをいことに不法投棄とみられるゴミが多いのは困った問題です。

### ■早蕨・総角（さわらび・あげまき）

宇治神社の北、静かで落ち着いた雰囲気のある石畳の道沿いに「早蕨」の石碑があります。この早蕨の石碑がある宇治神社の近くから宇治上神社を抜けていく道をさわらびの道といい、宇治十帖の早蕨にちなんで名づけられました。車道からも遠く、石畳の静かな道ということで、宇治の雰囲気やバツグンに感じることが出来ます。観光客や地元の人達で賑わうこともありますが、静かでゆったりとした雰囲気を味わうことができます。

さわらびの道沿いにある大きなポイントの一つが、世界遺産の宇治上神社です。同じ世界遺産の平等院に比べ、対照的ともいえる雰囲気を持つ神社です。境内には宇治名木百選に選ばれたけやきがあり、桐原水と呼ばれる湧

き水が湧いています（煮沸すれば飲用になるとのこと）。けって広いとは言えない境内ですが、社が重厚な気配を感じさせてくれます。宇治上神社の横を抜けてさわらびの道を歩くと、山へつづく道のわきにひっそりと「総角」の石碑があります。近くにはベンチが設置されており、歩きつきた足を休めることができます。川からも少し離れており、静かでたまに鳥の鳴き声が聞こえることも。ここから続く山道は大吉山展望台へと続いています。舗装はされていない山道で、自然を感じながらハイキングが楽しめるでしょう。展望台では宇治の街が一望でき非常に見晴らしが良く、地元の人が作った小鳥の劇場が設置されていて、小鳥たちが餌を求めてやってくる様子を近くから見ることが出来ます。



大吉山展望台から見える宇治の景色

### ■蜻蛉・手習・浮舟（かげろう・てならい・うきふね）

「手習」の石碑は、宇治橋から伸びる府道を三室戸方面へ進んでいくと現れます。交通量がかなり多いので、注意しながら進みましょう。目印として大きな木があり、その真横に手習の碑があります。ここからさらに府道を進むと、最近整備された道路の真ん中にソーラーパネルを使用した交通標識が設置されています。府道を離れ山のほうへ足を進めると、京都翔英高校の傍に「蜻蛉」の石碑があります。蜻蛉の碑の周りは閑静な住宅街といったところでしょうか。



手習の石碑と大木

さらに三室戸寺の方へ向かってみましょう。京阪三室戸駅から三室戸寺へ向かう途中で桜並木があります。若干ゴミのポイ捨てが目立つのは悲しいのですが、春には桜を眺めながら歩くのも楽しいでしょう。三室戸寺はア

ジサイなどが有名で、西国観音霊場十番の札所でもあります。三室戸寺の門をくぐり本堂までたどり着くと、その右手に見える梵鐘のそばに「浮舟」の石碑があります。近年この東宇治地域は竹林や茶畑や田んぼが住宅地やマンションに開発され、20〜30年前にクワガタを捕って遊んだ山も一部はなくなってしまったという話を一緒に歩いた地元の方に伺いました。

### ■夢の浮橋・橋姫・宿木（ゆめのうきはし・はしひめ・やどりぎ）

宇治橋は646年に架橋されたとの記録が宇治橋断碑の碑文にあり（注1）、京都と奈良を結ぶ交通の要所として様々な歴史上の出来事や物語の舞台になってきました。上流に突き出した三の間が特徴で、橋の上からは緑の山を背景に、川の流れ、塔の島、橋島、朝霧橋や水鳥などが望める最高の眺望ポイントです。宇治橋西詰めは6方向への道路が伸び交通量の多い交差点ですが、橋のたもと小さな休憩スポットに、宇治十帖のひとつ「夢の浮橋」があります。



夢の浮橋の碑（奥は紫式部像）

県（あがた）神社の大鳥居を目印に県通りを行くと、橋の守り神である橋姫を祀った橋姫神社の境内に、宇治十帖「橋姫」の碑があります。県通りは観光バスなどの大型車も多いわりに道幅が狭く、自転車や徒歩で行くには注意が必要です。

県神社をまがると平等院南門に出ます。広がった道路の両側にはみやげもの店や駐車場がならび、宇治川畔の料理旅館等がならぶエリアのいずれに宇治十帖の「宿木」の碑があります。宿木付近から川岸の散策路をあじろぎの道といい、四季折々の自然が楽しめる散歩道です。左岸土手のあじろぎの道から西を見ると、木々の間から平等院を望むことができます。宇治川の中ほどに桜の名所として有名な塔の島と橋島があり、朝霧橋を渡って、対岸に渡ることが出来ます。右岸より対岸を見ると、景観保全論のきつかけになった15階建てのマンションや、高層のホテル、電話局の塔などがあります。

（注1）橋寺放生院に保存されている宇治橋架橋の記念碑。

## 宇治川を取り巻く環境

源氏物語最後の十帖の舞台となった宇治。

その中央を流れる宇治川は宇治の象徴として

古くから人々に親しまれてきました。

今回わたしたちは、その宇治川と周辺の環境を再発見するため、

実際に現地をめぐり、調査することにしました。

そこで見つけたものは、見飽きることのない美しい風景、人々の様々な思い、

そして宇治川が直面する問題でした。

ここではその発見の一部をお伝えします。

### ■宇治川 宇治川とそこに棲む生き物たちの「今」

冬から春へ季節が移り変わる頃、多くの渡り鳥がここ宇治から別の地域へと飛び立っていきま。冬の宇治では特にユリカモメが多く見られます。



冬にやってくるユリカモメ

そこで私たちは、野鳥や渡り鳥に接する機会が多い宇治川（観光通船の高橋春夫さんと、松阪善勝さんにお話を伺うことにしました。お二人は宇治川で船頭として活躍しておられ、最近宇治川で渡り鳥や野鳥がここ1〜2年で増えているということをお話してくださいました。増えた鳥の中には、足を怪我している鳥がたまにいます。原因としては、一部の釣り人が残っていた釣り糸のくずが足が絡まって怪我をしてしまうことが挙げられます。またお二人が仕事としてやっている鵜飼のときでも、鵜に糸が絡まる事態になったこともあるそうです。

宇治川で釣りを楽しんでいる人は多く、特に禁止されているわけでもありません。最低限のルールさえ守って釣りを楽しめば、怪我をする鳥も減ってくるのではないのでしょうか。また、昔から宇治川を見てきたお二人は、昔の宇治川と、現在の宇治川を比較すると「圧倒的に昔のほうが水がきれいだった」とおっしゃいます。

確かに現在の宇治川の水は、お世辞にもきれいだとは言えません。底の見えない緑っぽい水の色に、浅瀬から見える揺らめく藻のようなもの。このようになってしまったのは、天ヶ瀬ダム（注2）の建設や、水源である琵琶湖の総合開発が原因ではないかとされています。

### お知らせ

Green Map Uji は6月8日、「第5回身近な水環境の全国一斉調査」に参加し宇治川の水質調査をおこないます。一緒に水質検査に参加して下さる方を募集します。希望者は京都文教大学フィールドリサーチオフィス（0774-25-2488）まで

※宇治川の川岸はところによって足場が悪く危険です。特に増水時は近寄らないようにしましょう。

るきをした際、たくさんのきれいな自然を目にしました。しかしそれとは反対に、ゴミの不法投棄もたくさん見ました。特に印象的だったのは、宇治川の河原と京滋バイパスの高架下です。京阪三室戸駅を三室戸寺と反対の方向へ歩いてゆくと、やがて宇治川の河原にたどり着きます。

宇治川の河原には、空き缶や電子レンジ、車のバッテリーと思われるものが捨てられています。川の中には穴の開いた車のタイヤ、それに一番目立っていたのは放置されたままの大きな船です。そもそもこれらがどうやって宇治川まで運んでこられたのかが気になります。

京滋バイパスの高架下はもっと悲惨です。まずバイパスの下にたどり着くまでに、戦川の横の道路を通りますが、よく見てみると道路に落書きがされています。さらにバイパスの下に行くと、ゴミの山があります。大きなビニール袋から顔を覗かせるプラスチック製の容器の数々、炊飯器や子供用の三輪車、拳骨の果てには洗濯機まで捨てられています。ここに捨てられているのは主に粗大ゴミ、燃えないゴミでした。

さらに京阪三室戸駅から三室戸寺へ向かう道中にある桜並木。そこにある柵で仕切られた用水路の中にも、ペットボトルや空き缶などが捨てられています。春になって桜が咲き始めたとき、きれいな桜のその下にゴミが捨ててあったら悲しいと思いませんか。きれいな宇治川の水を取り戻すためにも、ゴミの不法投棄をなくす必要があります。



バイパス下に捨てられたゴミ

### ■川霧（朝霧） 見飽きることのない、川霧の美しさ

宇治川の冬といえば、やはり川霧です。天ヶ瀬吊り橋（注3）辺りから塔の島にかけて宇治川の川面に湧きあがる霧はとても幻想的で美しい光景です。川霧は朝霧とも呼ばれ、川の水温より外気温の方が低くなった寒い朝に現れます。見える時期は、冬場の11月末〜1月、6:00〜8:00頃という限られた期間です。寒い朝のきりっとした空気に包まれ、川面からまるで湯気のような白い霧が湧き立ちます。決して霧（もや）や霞（かすみ）のようではなく、周りの山々ははっきりと見え、川から

立ちのぼった霧は川の流れと共に下流へと下ります。しかしそれとは反対に、ゴミの不法投棄もたくさん見ました。特に印象的だったのは、宇治川の河原と京滋バイパスの高架下です。京阪三室戸駅を三室戸寺と反対の方向へ歩いてゆくと、やがて宇治川の河原にたどり着きます。

朝ぼらけ 宇治の川霧 たえだえに  
あらわれわたる 瀬々の網代木  
この歌は百人一首六十四番・権中納言定頼が詠んだものです。

このように、平安時代後期の歌には川霧をテーマにしたものが数多くあります。川霧の美しさは平安の昔から人々を魅了し続けているのでしょうか。しかし川を取り巻く宇治の風景は時代と共に大きく変化しました。ダムが造られ、川の改修工事が行われ、島の形も変わり、今では宇治川で泳ぐこともできません。インタビューの最後に山本さんが言われた「昔に戻すことは出来なくてもいい。ただもうこれ以上変わらないでほしい」という言葉が印象的でした。

（注3） 吊り橋：天ヶ瀬ダムの少し下流にある歩行者専用の木造の橋）



川霧（朝霧）が出ている宇治川

### ■自転車 自転車で宇治を散策したい！

グリーンマップアイコンには自転車に関係するものがいくつかあります。自転車はエネルギー的にはもちろん、自動車に比べるとスローな移動で町を発見できるエコロジカルな乗り物です。昨秋からの調査で、私たちは自転車をおおいに活用しました。しかし、宇治にはレンタサイクルがなく、自転車専用レーン等もまったくありません。京都文教大学（注4）から宇治橋通り商店街のサテライトキャンパスまで、自転車で20分程度の移動は一般道路を利用しています。もし宇治川にサイクリングロードがあれば、危険も少なく、自然を感じながら楽しく走ることができるでしょう。また、一般の人にも利用できるレンタサイクルがあれば、電車利用のツーリストにも便利なのではないでしょうか。

（注4） 京都文教大学：宇治橋のひとつ下流にかかる福元橋の西にキャンパスがあります）

### 編集後記

2007年秋に始まった Green Map Uji の活動は、最初の一つの成果としてこの地図を完成させました。環境問題は多分野にわたり、様々な立場の意見があり、私たちはやっとスタートラインにたった…というのが正直な気持ちです。これからも地元の方々とのリサーチや意見交換を通して、Green Map Uji の活動を継続していきたいと思っています。

